

ARCHITREND Modelio Ver.5 の新機能

処理メニュー

起動時の自動最適化設定

起動時に表示されるマスタ自動最適化設定に、3D カタログマスタを追加しました。

3D カタログマスタも自動最適化を行うと、サッシや住宅設備等の入力がスムーズになることがあります。



【Ver.4】

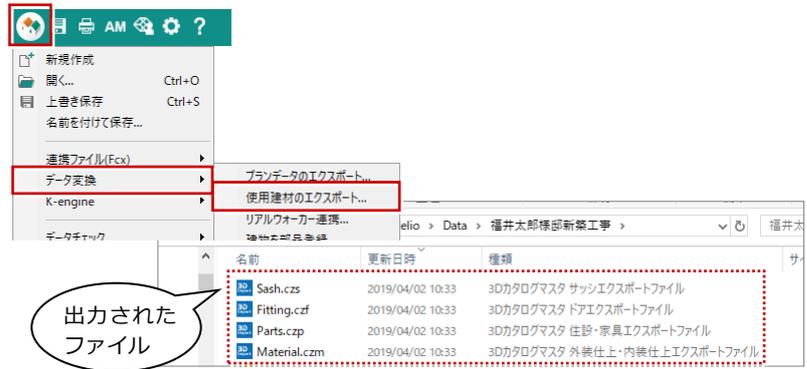


【Ver.5】

使用建材のエクスポート機能を追加

プランに使用している建材を、プランフォルダ内にエクスポートできるよう対応しました。

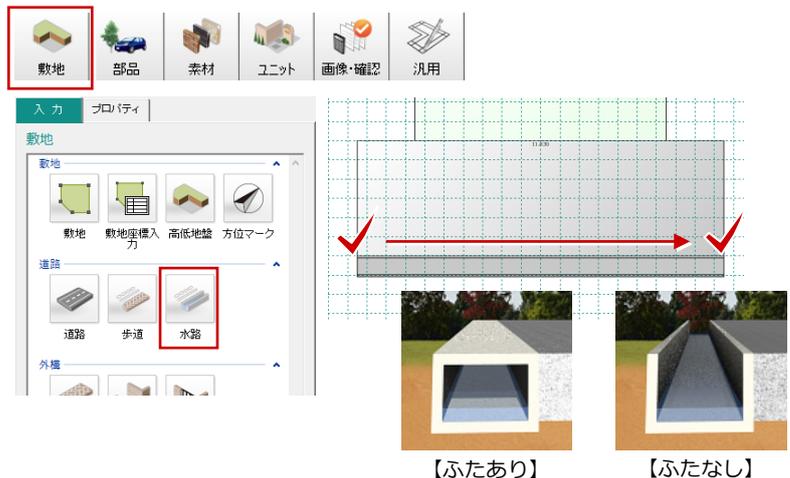
マスタはローカル管理、プランデータはサーバー管理の場合などで、マスタの配布がしやすくなります。また、プランでマスタのリンク切れがあった場合に、その出力したファイルをインポートすることでリンクできるようになります。



敷地

水路コマンドを追加

水路コマンドに対応しました。
道路周辺の表現力がアップします。



【ふたあり】

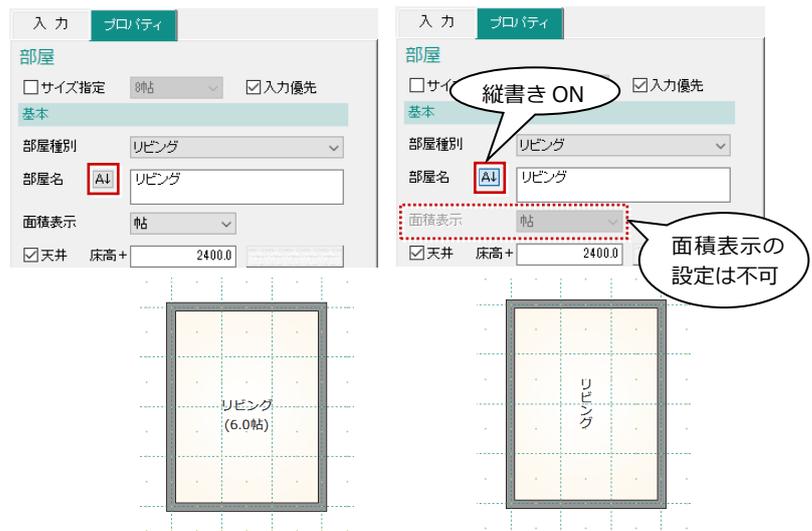
【ふたなし】

部屋

部屋名の縦書きに対応

部屋名を縦書きできるよう対応しました。
同様に「バルコニー」や「ロフト」でも対応しました。
今まで改行して縦書きに見せていたものを、ボタン一つで行えるようになります。

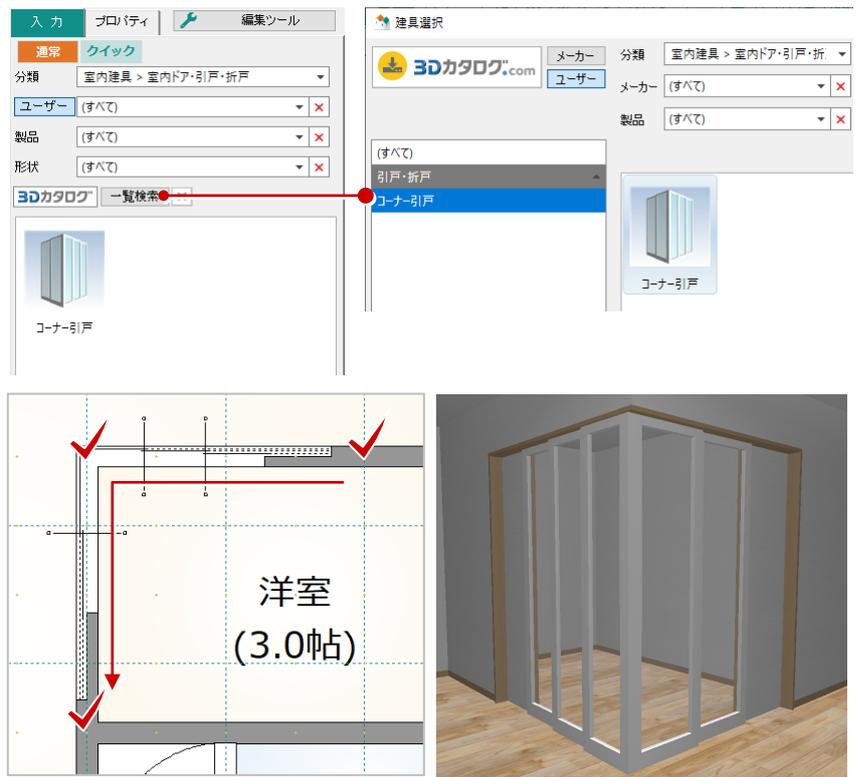
※ 縦書きのときは面積を表示しないため、「面積表示」の設定は不可となります。



建具

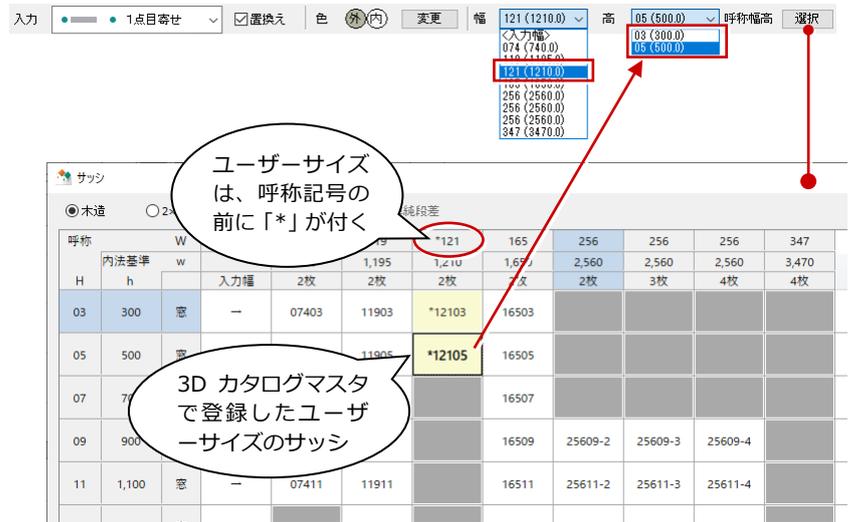
室内建具のコーナー引き戸に対応

室内のコーナーに入力できる建具に対応しました。
和室コーナーなどマンションに多くあるようなコーナー建具の表現が可能になります。



ユーザー設定のサッシサイズに対応

3D カタログマスタで登録した任意サイズのユーザーサッシを入力できるように対応しました。
 利用頻度の高いサイズのサッシの登録が可能となり、サイズを変更して入力する手間が軽減されます。



サッシの非表示に対応

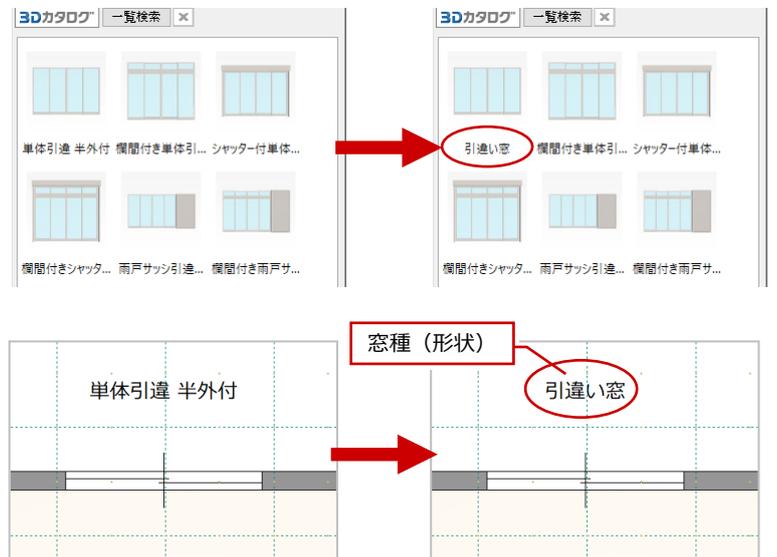
3D カタログマスタで非表示に設定したサッシ単体表示に対応しました。
 利用しないサイズを非表示にしておくことで、通常利用するサイズが選びやすくなります。



【3D カタログマスタ：建具の登録・編集ダイアログ】

サッシの窓種名の変更に対応

3D カタログマスタで編集したサッシの窓種名に対応しました。
 窓種名を短くすることで、表示名も短くすることができます。

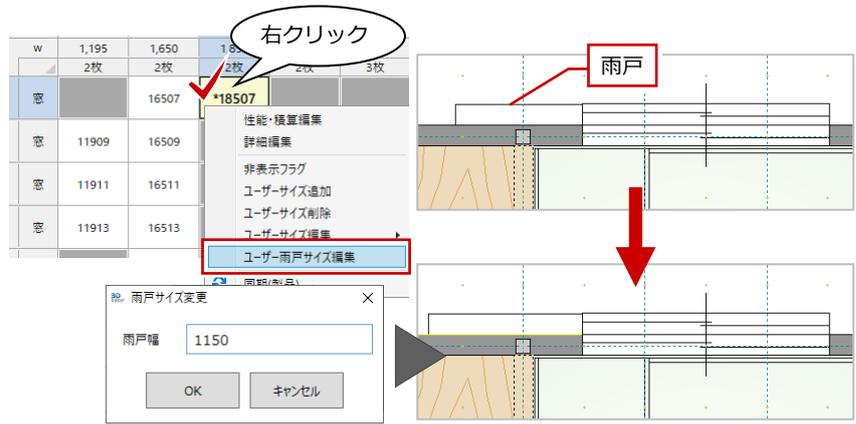


【3D カタログマスタ：建具の登録・編集ダイアログ】

サッシの雨戸各サイズに対応

3Dカタログマスタで追加したユーザーサイズの雨戸サッシに取り付け雨戸のサイズ変更に対応しました。

雨戸サッシは、ユーザーサイズごとに雨戸のサイズを持つことができるようになります。立体形状に対し1つしか保持できなかった雨戸を各サイズに対応し、雨戸サイズを変更したメーカーの雨戸サッシを描画できるようになります。



【3Dカタログマスタ：建具の登録・編集ダイアログ】

サッシ内側のみの取っ手に対応

窓やドアの開きで内側のみ取っ手があるような表現に対応しました。

外観で取っ手がない表現ができるようになります。

対応可能サッシ

- ドア：片開き・親子・両開き・片袖・両袖・自由・両自由
- 窓：片開き・両開き



【室内側】



【建物外側】

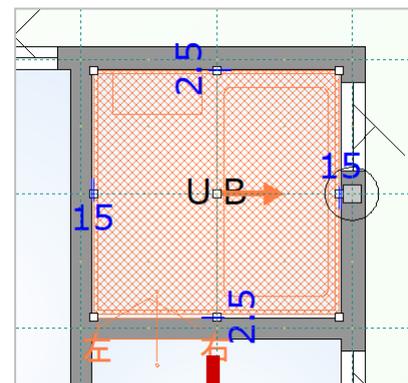
部品

ユニットバスドアの位置調整

ユニットバス付属のドアの位置を調整できるよう対応しました。

間取りに合わせたユニットバスドアの位置調整が可能になります。

※ ドア位置調整可能なユニットバス部品のみに限ります。

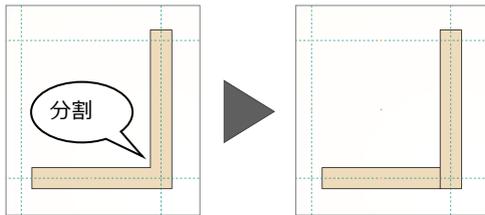


内部・外部

手摺の分割処理を改良

L型形状の手摺を2つのI型形状に分割した場合の処理を改善しました。違和感のない立体になります。

また、数量に関しては手摺に近い数値を出すことで、根拠を追いやすくしました。



【Ver.4】

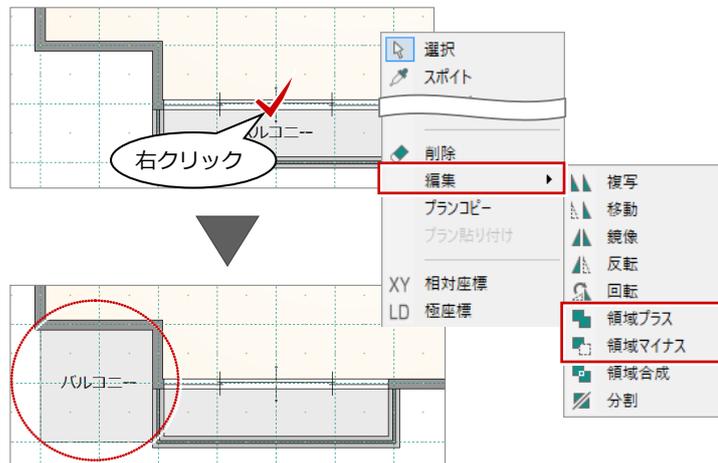
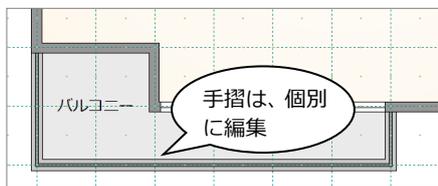


【Ver5】

バルコニーのプラス・マイナス領域

バルコニーを領域プラス・マイナスで編集できるよう対応しました。

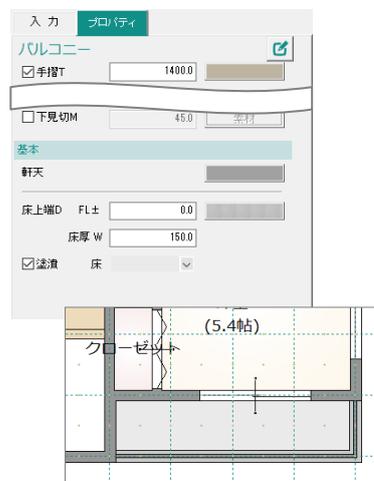
※ 手摺は、バルコニーに追従して自動編集しません。個別に伸縮するなどして編集してください。



【領域プラス後】

バルコニー領域の名称を表記

バルコニーの名称を入力して表記できるようになりました。



【Ver.4】



【Ver.5】

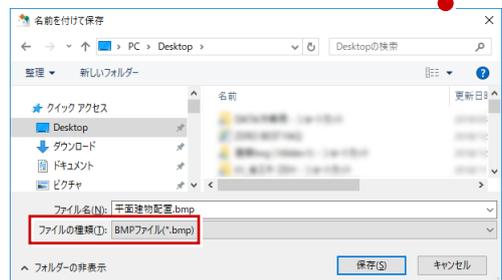
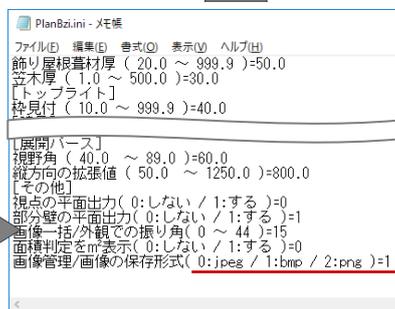
画像・確認

エクスポートで jpeg 以外も対応

「画像管理」ダイアログで自動作成した画像をエクスポートする場合に、bmp、png 画像も出力できるように対応しました。

「ツール」メニューの「部材初期値編集」で画像の形式を設定した後、画像を自動作成して、エクスポートします。

この他に、「敷地」モードでも「画像管理」を使用できるようにしました。

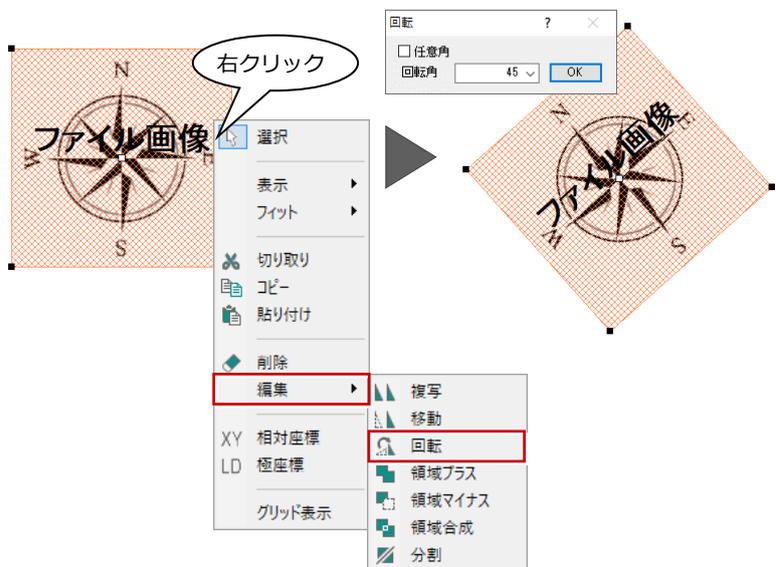


プレゼンボード

画像の回転移動に対応

プレゼン画像以外の画像の回転に対応しました。プレゼンボードの表現力が向上します。

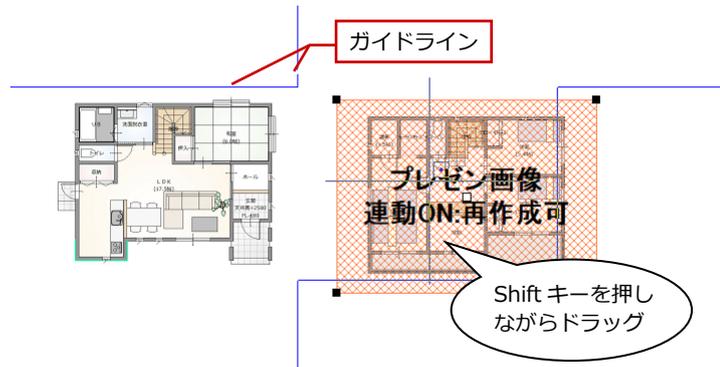
※ プレゼン画像の回転移動は未対応です。



移動時の位置合わせラインを表示

選択した画像などをドラッグ移動する際に Shift キーを押したままにすると、他の画像などと位置合わせできるガイドラインを表示するようにしました。

簡単に合わせることができるようになり、きれいなプレゼンボードが作成しやすくなります。



棟面積表の各面積表記の有無に対応

棟面積表に表記する各面積の有無を設定できるようにしました。

簡易的に入れた敷地の面積を消すことができます。

※ 施工床面積の表記は、従来から設定可能です。



棟面積表

	面積[m ² (坪)]
敷地面積	166.86 (50.48)
建築面積	58.38 (17.66)
1階床面積	58.38 (17.66)
2階床面積	49.68 (15.03)
延床面積	108.06 (32.69)
施工床面積	138.06 (41.76)

【表示項目：ON】



棟面積表

	面積[m ² (坪)]
1階床面積	58.38 (17.66)
2階床面積	49.68 (15.03)
延床面積	108.06 (32.69)

【表示項目：OFF】